

教科		選 定 理 由
各学科に共通する教科（共通教科）	国語	内容、程度、分量が本校生徒の実態に即しており、特性の有無に関わらず読みやすいものとなっている。
	地理歴史	程度が本校生徒の実態に即し、内容が教科・科目の目標に適合している。また配列や関連付けも適切で分量も良い。
	公民	程度が本校生徒の実態に即し、内容が教科・科目の目標に適合している。また配列や関連付けも適切で分量も良い。
	数学	程度が本校生徒の実態に即し、内容が教科・科目の目標に適合している。また、障がいその他の特性の有無に関わらず、生徒にとって読みやすいものになっている。
	理科	程度が生徒の実態に即しており、内容が教科、科目の目標に適合し、生徒の興味関心を引くものとなっている。
	保健体育	程度が本校生徒の実態に即しており、内容が教科、科目の目標に適合している。
	芸術	音楽・美術・書道とも教科書の内容が本校生徒の実態に即している。 また、印刷が鮮明で体裁も良い。
	外国語	程度が本校生徒の実態に即しており、内容が教科、科目の目標に適合している。
	家庭	程度が本校生徒の実態に即しており、内容が教科・科目の目標に適合している。
	情報	程度が本校生徒の実態に即しており、内容が教科、科目の目標に適合している。
主として専門学科において開設される教科（専門教科）	農業	程度が本校生徒の実態に即しており、内容も図・表等が豊富で生徒の興味・関心を引くものとなっている。
	工業	
	商業	程度が本校生徒の実態に即しており、内容が教科・科目の目標に適合している。
	水産	
	家庭	程度が本校生徒の実態に即しており、内容が教科・科目の目標に適合している。
	看護	
	情報	程度が本校生徒の実態に即しており、内容が教科、科目の目標に適合している。
	福祉	程度が本校生徒の実態に即しており、内容が教科・科目の目標に適合している。